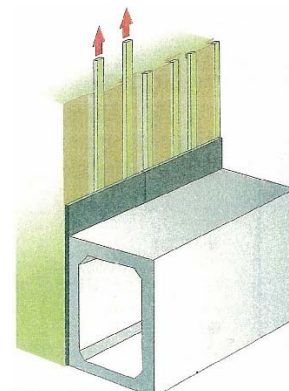
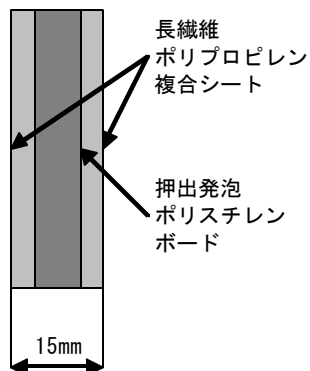
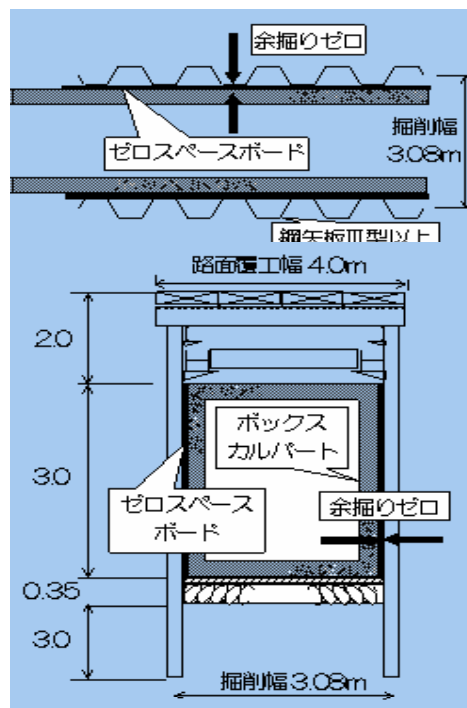


ゼロスペース工法

本技術は、山留めが鋼矢板工法により施工可能な地盤条件で余掘り幅を確保できない函渠工を施工するにあたり、存置型枠を使用することにより土留杭の引抜を容易にした工法である。本技術では、地下構造物の外型枠として、非腐食性の残置型枠（ゼロスペースボード）を用いることで、土留杭の引き抜きに時の地山不安定の解消及び型枠損傷に伴う函渠への影響を低減し、さらに、止水性、側壁部のひび割れ防止の向上が図れる。



— 型枠支持材撤去概念図 —